

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年1月22日

先を読む

先週末初の大学入試共通テストが行われました。コロナ感染拡大の心配や感染症対策をとっての実施となり、受験生はもちろんのことですが、大学側にとってもひとまずは実施できたことを安堵していることと思います。

実施に至るまでは、休校やオンライン授業などを余儀された上、民間の英語検定活用の見送り等出題方法が二転三転して、振り回され続けた感じもありました。

またマスクの着用が義務づけられている中、マスクから鼻出ししていた受験生に再三注意をしたのに従わなかったという理由で失格になった受験生がいました。

(従わなかった理由を明らかにしていなかった後トイもって逮捕もされましたが、大変なときに変な受験したわけなので、最後まで従わなかったことは何らかの理由があったものと推測はできます。それにしても、どうにかできなかつたものでしょうか?)

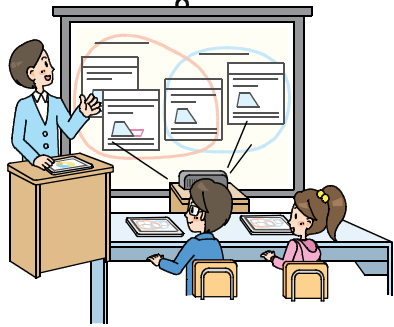
とはいえコロナ感染拡大が及ぼした影響は、自分が受験できるのか、また受験があるのかなど心配することばかりで本当に大変な事だったと思います。

新聞で『新しい入試』と取り上げられていましたが、これまでのセンター試験と今回の大学入試共通テストはどのように違うのでしょうか。

試験科目はこれまでと同じ教科・科目です。高校で学ぶ内容はこれまでと変わらないので、問題を解くのに必要な知識については変わりません。しかし、実用的な内容が出題されることや記述式が新たに導入されるため、内容について【本質的な理解ができているかどうか】が問われていくために、ある意味今までのセンター試験よりは難しくなるかもしれません。

これからの時代をたくましく生き抜くために必要な力・資質を身につけ、社会に貢献する人材を育成することを目指しているためその一部として、「大学の入試」が変わったということを取り上げていますが、小学校、中学校…とどの学校においても将来を見据えての授業は変わってきています。

さて職員会においてよく宿題について話すことがあります。学校としては宿題をやる児童の割合100%を目指しています。状況によって100%できないこともありますが、宿題の意味づけを学習の習慣化と基礎学力の定着向上としています。小学校や中学校では宿題が出ますが、高校になると宿題として毎日やった記憶はあまりありません。



せん。(私だけかも知れませんが…)

小学校のころとは違いテスト期間になり慌てて復習やテスト勉強をしたことを思い出します。今となってはあの頃もう少し真面目に頑張っていたらば…と思っている人は私だけではないと思います。

さて毎日の宿題を思い出して下さい。漢字や計算練習などがありますが、高学年になれば自主勉強や自主学習等という宿題もあります。

学校ではよく自主学習ノートを展示して、友だちの学習から学ぶ…と言うことをしていますが、友だちのを見ていざやるとなったら、何をどのようにしたら良いのか分からないと言う人もまだいるのではないかと思います。

そこで今回は今求められている学力観と言うことで、自分で課題を見つけて学習する方法を少し書いてみます。

◆◆自主学習の達人への道◆◆

今までのように習ってきたことをそのままノートに書くこともあります。また疑問に思ったことを様々な資料を調べてノートに書き写していくこともあります。

漢字を書いたり、ノートいっぱい計算する人もいます。高学年では、ことわざや四字熟語、短歌や俳句などたくさんあります。どれもその人が考え、頑張って取り組んでいるので、そのことについてはとても素晴らしいことだと思います。

ではもう一步進んで達人になるためには、どんな工夫があるのでしょうか?

これが絶対ではないし、他にも方法がありますがこれから求められている課題解決型に少しは関連しているのでは、参考になればと思います。

ポイントは、一番始めに書いたことに10個の疑問(質問)を考え、内容を深めることです。

例えば、カレーライスについて調べようと思えます。そのためには匂いを嗅ぐことやよく見ることから始まります。

次に五感を使って食べてみます。見るだけでは分からないことが、実際に体験することでより思考が深まります。

勉強はそこで終わりではなく、カレーのことで調べてみたいことや知りたいことを書きます。「スパイスの数」「味の違いがあるが辛いカレーは健康にどうなのか?」…。初めのうちは質問はたくさん出ますが、7個あたりを過ぎたら思いつかなくなってきました。

その時が学びのチャンスです。その学びを続けることこそ今まで考えもつかなかったような問いが生まれ、知らなかったことを理解します。

自主学習の達人を目指すことは、『問い続けること』です。ぜひ10個以上の質問を考え、ノートにまとめることで自分だけの素敵なノートを作ってみてはどうですか。

大寒を過ぎて



1月20日は大寒でした。1年で最も寒い日とされています。寒波もやってきてとても寒い日が続いていました。

大寒の次は立春です。立春から新しい1年の始まりとされており、あと2週間もすれば、暦の上では、新しい春ですね。春になり少しでもコロナ感染症が治まっていることを願うばかりです。